

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2192100234		
法人名	(株)ユニマツ リタイアメント・コミュニティ		
事業所名	大垣ケアセンターそよ風		
所在地	岐阜県大垣市久瀬川町6-128		
自己評価作成日	2020年6月22日	評価結果市町村受理日	2020年8月31日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	https://www.kai.gokensaku.nhl.w.go.jp/21/index.php?act=on_kouhyou_detail_022_kani=true&g_yosyoOd=2192100234-00&SerViCeOd=320&Type=search
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 旅人とたいようの会		
所在地	岐阜県大垣市橋町1丁目3番地		
訪問調査日	2020年7月30日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

そよ風での暮らしがその方の日常となり、他の利用者様と共に楽しく過ごしていただける環境作り。アットホームなそよ風を常に心掛けております。職員との関りはすごく大切です。利用者様ファーストを忘れず毎日の業務にならないよう気を付けております。こんな大変な世の中ですが季節を忘れないようお花を見に散歩に出掛けることや、足腰が弱らないよう近所への散歩やセンター内歩行訓練など取り組んでいます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

本部の理念及び倫理綱領を基にした「笑顔の為には感謝を」の事業所理念を掲げ、美味しい食事を食べて、楽しく穏やかな生活から笑顔が生まれるように取り組んでいる。洗濯物干しや畳み、下拵えや下膳等のできることをやってもらい、利用者ファーストでその人らしい生活ができるようにしている。本部のサービス目標や指針に合わせて、記録物のOA化にも取り組み、職員の業務効率の向上につながる努力をしている。コロナ禍で家族や外部との触れあいが困難な状況のなかで、ラインやビデオ通話でコミュニケーションが図れる環境を整備している。職員の健康や体調管理にも配慮しつつ、利用者や家族とも良好な関係を築き家庭的な雰囲気のある事業所である。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	グループ独自の理念(笑顔の為には感謝を)毎日朝礼時唱和し供して実践に繋げています。	日々のケアで実践できるように、理念を毎朝の申し送り時に唱和している。全体会議で問いかけし、ユニット会議で話し合っている。美味しい食事を食べ穏やかに過ごしてもらい、利用者が笑顔でいられるようにしている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近隣保育園児との交流を図っています。	近隣を散歩時に住民と挨拶を交わし会話している。自治会に加入し、行事や防災訓練に管理者が参加し事業所の情報を伝えている。ボランティア、小中学生の体験学習や職場体験を受け入れているが、現在は中断している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	近隣への散歩のとき何気ない挨拶などによりその存在を知って頂くことにより認知症への理解を少しでもして頂ける様努めています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	地域包括センターの職員、民生委員さん、家族の方々より意見交換、運営の状況など報告を含めサービスの向上に活かしております。	会議で事業報告し、意見をもらい業務の改善に役立っている。民生委員から地域の情報を得て参考にしている。議事録を家族に送付している。コロナ禍で現在は書面会議としている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	事故報告・変更届など速やかに提出しております。サービス運営の為の取り組みなど相談協力関係を築くよう努めております。	書類提出や物品受領時に事業所の実情を伝え、協力関係を築くようにしている。市主催の会議や研修は中断している為、必要時は、電話やメールで相談したり、情報を得たりしている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束委員会の設定、研修を行っております。玄関の施錠は利用者様の安全、外部からの不審者侵入回避の為もあり施錠させて頂いております。	全体会議で事例を挙げて話し合い、スピーチロックとなる言葉遣い等についても話し合っている。チェックシートで自己点検し振り返っている。身体拘束廃止指針を定め、委員会の開催や職員研修を行っているが、議事録の作成や研修実績の記録ができていない。	身体拘束について、更なる理解を深めて取り組めるように、記録物の整備が望まれる。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	定期的な研修の開催と介護現場において困難事例があれば職員同士が協力し虐待防止に努めております。		

大垣ケアセンターそよ風

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	マニュアルが作成されいつでも職員全員が閲覧活用出来る様に整備されております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に十分な説明と理解は頂いております。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営委員会、意見箱等において家族様からの要望意見は真摯に受け止め、出来る範囲で反映させて頂いております。	写真を多く掲載した通信を毎月発行し、家族に送付している。服装についての意見や歩行訓練希望の意見があり取り入れた。現在、家族面会ができない為、ラインでビデオ通話もできるようにして意見を聞きやすくしている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月、全体会議を開催し意見や提案をして頂いております。	全体会議やユニット会議で意見があり、業務割り振り、タイムスケジュールやレクリエーションの提案を検討し改善している。備品の購入や修繕等については本部に確認している。休みの希望を聞いて働きやすくしている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	やりがい、向上心については本社研修・事業本部内研修・外部研修参加の促進を行っております。公平に有給休暇など取れるよう考え休息できる様配慮を行っております。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	社内研修・実践者研修など各講習・研修に参加できる様促進を行っております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	事業部内で3ヶ月に1回行われるGH協議会に参加することで意見交換など行っております。		

大垣ケアセンターそよ風

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	実調査において本人様の不安や要望をお聞きし少しでも居心地の良い場所の提供が出来るよう努めております。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	施設内での生活、家庭での生活への不安、利用者様を入居させるにあたっての家族様の想いなど傾聴し信頼関係に努めております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	他の介護サービス、医療サービスなどいろいろ選択肢を提案することでその方に本当に必要としている者は何か対応に努めております。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日常の出来る事は行っていただいております。(洗濯干し・たたみ・食事の盛り付け)など。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	入居後初期段階では知り得なかったことなど家族様からお聞きすることでサービスなど支援に対して家族様と共に支えになれるようにしています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会制限が家族様より要望がない限り馴染みの方との面会など関係が途切れない様支援を行っております。	ボランティアでフラダンスに來所した友人と一緒に踊れるようにしている。手紙が届くと返事を書いてもらい、声が聞きたい場合は電話で話してもらい、関係が途切れないようにしている。家族が食事を持参し居室で一緒に食べる人もある。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	共にフロアでテレビを見たり、洗濯物を畳んでいただいたりと利用者様同士の関わりは出来ているように思います。		

大垣ケアセンターそよ風

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後の本人様・ご家族様との関係は切れています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	毎日の生活の中御本人の思いと共に性格も理解し本人様本位のサービス提供に努めています。	側に寄り添ったり、見守ったりして自分のやりたいことができるように支援している。難聴の人には、ゆっくりの声かけやジェスチャーで思いを把握している。困難な人には、行動や表情から推測して対応している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居相談～実態調査～サービス担当者会議～入居受付等によりサービスの経過等把握に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の生活、毎日の介護記録(日誌)申し送りノートなどで職員共有を行い、把握に努めております。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	サービス担当者会議の活用で意見交換し介護計画に反映させております。	本人の希望や家族の意見を取り入れて、医師の意見も参考に介護計画を作成している。介護記録やユニット会議で問題点を話し合いモニタリングしている。体調変化時は家族に相談し、その都度見直している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケアカルテ・連絡ノート・朝礼などを活用し共有を行っております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	吸痰などの必要時や通常時は訪問看護に依頼しているが、急を要する時は資格者がいるときは対応をしております。		

大垣ケアセンターそよ風

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	近隣の保育園児、小学生の体験学習、中学生の職場体験など来所頂き楽しい時間を過ごしております。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	在宅医療の導入により、より速い医療が受けられる体制作りを行いました。	かかりつけ医を受診時は、日常のバイタルは書面で、体調等は口頭で家族に伝え、受診後に報告を受けている。協力医は24時間連携ができる。訪問看護、訪問歯科診療やリハビリを利用している。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護時、個々の状況を記載した連絡用紙を基に適切な受診看護が受けられる様支援しております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	在宅医療と総合病院のドクター間の連絡情報の共有が出来ています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居契約時に見取りの理念の流れやご家族様のご意向などお聞きし、延命処置についてもお話させて頂いております。	契約時に看取りの指針を説明している。体調変化に合わせて、家族の意向を確認し看取りをしている。医師は24時間指示が得られ、訪問看護はいつでも利用ができる。最期まで何度も話し合い、意向を確認し、家族の付き添いも可としている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	研修など行ってはいますが、実践が伴わない職員も少数いるのが現状です。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の消防訓練は行っております。地域との協力体制については総会時に区長様をお願いに上がり、了承頂きました。	非常階段を使用し夜間想定もして避難訓練を実施し、時間計測し反省点を話し合っている。災害時行動マニュアルを整備し、非常ベルやスイッチ類の確認をしている。米、水やオムツ等を備蓄しているが、消防署との連携や住民の協力が得られていない。	消防署の専門機関の立ち会いも検討し、地域の協力が得られる働きかけも継続して努力されたい。

大垣ケアセンターそよ風

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員全員が心掛けて対応を行っております。今後も人格の尊重、誇りを損ねないように心掛けていきます。	利用者を尊重した言葉掛けに気をつけ、きつい言葉等は職員で注意し合っている。呼称は本人の意向を聞き、〇〇さんと呼んでいる。居室入口の表札や写真の掲載等は、本人や家族の了解を得ている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご本人様の思いが表せるようなお声掛けを心掛けております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	希望に沿った支援を行っております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	お聞きしながらお洋服を選んで頂いたり、自分で選んで頂いたりしております。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	盛り付けや洗い物など危険の無いよう付き添いながら一緒に行っております。	行事食や手作りおやつを取り入れ、旬の食材で調理している。母の日にはケーキを手作りし花を飾り、父の日には、鰻とノンアルコールビール等を提供し、楽しみな食事に行っている。盛り付け、食器洗いや下拵え等出来ることを一緒に行っている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	管理栄養士の献立により職員が調理し、その方に合わせた食事形態の提供を行うとともに食事・水分摂取量の記録は毎日行っております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	朝夕の口腔ケアの施行、希望者の方には訪問歯科の利用も可能とさせて頂いております。		

大垣ケアセンターそよ風

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	定時のお声掛け、誘導を行う事でトイレでの排泄を支援しております。オムツ使用の方は1名様おられます。	排泄チェック表を確認し、その人に合わせて声かけしトイレ排泄が継続できるようにしている。夜間ポータブルトイレ使用する人もいる。パッドの検討をしたり、トイレまでの通路を大きく表示したりして自立に向けた支援をしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分量の把握を行うとともに体を動かして頂ける様お声掛けを行っております。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	無理強いすることなく、清潔の保持をいっつ入浴して頂いております。入浴剤を使用することで楽しく入浴出来る様心掛けております。	職員が1対1で関わり、シャンプーやボディソープ等は好みの物を使用し、会話をしながらゆったりと入浴している。定期的に入浴剤を交換し、気分を変えながら楽しみな入浴になるようにしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	就寝時間はご本人様に合わせております。昼夜逆転にならないよう日中の活動状況に気を付けております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方箋は職員が誰もが確認出来る様になっております。服薬の支援・症状の変化の確認に努めております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日常生活の中で出来る事を行っていただくことで、役割・気分転換など行えていると思っております。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	散歩など心掛けております。ご家族様には外出・外泊は大丈夫とお伝えしご協力頂いております。	近所の神社等への散歩、桜や菖蒲等の見学に出掛けている。喫茶店や買い物にも職員と一緒に出かけている。家族の協力を得て、自宅、墓参や外食等に出掛ける利用者もいるが、現在は中断の人が多。洗濯物干しや日光浴で外気に触れる機会を作っている。	

大垣ケアセンターそよ風

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	現金の所持はご本人様が安心できる程度に留めて頂くようお願いを行っております。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	制限は行っておりません。ご家族様のご意向はお伺いしております。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節が分かるような壁作りを行ったり、過ごし易い環境作り心掛けております。	利用者と一緒に作成した四季折々の壁面飾りをリビングに掲げ、季節感を出している。廊下にはレクリエーションで書いた書道作品を掲示している。夜間は、トイレ付近の足下に灯りをつけ安全に配慮している。室温確認や換気を適宜行い、居心地良く過ごせるようにしている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	フロアーにてそれぞれが過ごし易く、思い思い過ごして頂ける様心掛けております。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人様の使い慣れた寝具類など配置することで安心して過ごして頂ける様支援させて頂いております。	使い慣れたTV、ラジオ、時計、チェストや寝具類等を持参してもらい、家族写真や花を飾り自分らしい居室にしている。ベッドの位置は本人や家族と好みで変えている。居室で本を読んだりアルバムを見たりして自由に過ごしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	危険な物の持ち込み以外はご本人様の意向やご家族様の思いに配慮し、安全で自立して生活が過ごせるよう支援させて頂いております。		

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2192100234		
法人名	(株)ユニマツ リタイアメント・コミュニティ		
事業所名	大垣ケアセンターそよ風		
所在地	岐阜県大垣市久瀬川町6-128		
自己評価作成日	2020年6月22日	評価結果市町村受理日	2020年8月31日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	https://www.kai.gokensaku.nhl.w.go.jp/21/index.php?act=on_kouhyou_detail_022_kani=true&i_gyosvoOd=2192100234-00&SerVi.ceOd=320&Type=search
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 旅人とたいようの会		
所在地	岐阜県大垣市橋町1丁目3番地		
訪問調査日	2020年7月30日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

--

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

--

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	グループ独自の理念(笑顔の為には感謝を)毎日朝礼時唱和し供して実践に繋げています。		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近隣保育園児との交流を図っています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	近隣への散歩のとき何気ない挨拶などによりその存在を知って頂くことにより認知症への理解を少しでもして頂ける様努めています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	地域包括センターの職員、民生委員さん、家族の方々より意見交換、運営の状況など報告を含めサービスの向上に活かしております。		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	事故報告・変更届など速やかに提出しております。サービス運営の為の取り組みなど相談協力関係を築くよう努めております。		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束委員会の設定、研修を行っております。玄関の施錠は利用者様の安全、外部からの不審者侵入回避の為もあり施錠させて頂いております。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	定期的な研修の開催と介護現場において困難事例があれば職員同士が協力し虐待防止に努めております。		

大垣ケアセンターそよ風

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	マニュアルが作成されいつでも職員全員が閲覧活用出来る様に整備されております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に十分な説明と理解は頂いております。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営委員会、意見箱等において家族様からの要望意見は真摯に受け止め、出来る範囲で反映させて頂いております。		
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月、全体会議を開催し意見や提案をして頂いております。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	やりがい、向上心については本社研修・事業本部内研修・外部研修参加の促進を行っております。公平に有給休暇など取れるよう考え休息できる様配慮を行っております。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	社内研修・実践者研修など各講習・研修に参加できる様促進を行っております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	事業部内で3ヶ月に1回行われるGH協議会に参加することで意見交換など行っております。		

大垣ケアセンターそよ風

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	実調査において本人様の不安や要望をお聞きし少しでも居心地の良い場所の提供が出来るよう努めております。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	施設内での生活、家庭での生活への不安、利用者様を入居させるにあたっての家族様の想いなど傾聴し信頼関係に努めております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	他の介護サービス、医療サービスなどいろいろ選択肢を提案することでその方に本当に必要としている者は何か対応に努めております。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日常の出来る事は行っていただいております。(洗濯干し・たたみ・食事の盛り付け)など。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	入居後初期段階では知り得なかったことなど家族様からお聞きすることでサービスなど支援に対して家族様と共に支えになれるようにしています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会制限が家族様より要望がない限り馴染みの方との面会など関係が途切れない様支援を行っております。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	共にフロアーでテレビを見たり、洗濯物を畳んでいただいたりと利用者様同士の関わりは出来ているように思います。		

大垣ケアセンターそよ風

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後の本人様・ご家族様との関係は切れています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	毎日の生活の中御本人の思いと共に性格も理解し本人様本位のサービス提供に努めています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居相談～実態調査～サービス担当者会議～入居受付等によりサービスの経過等把握に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の生活、毎日の介護記録(日誌)申し送りノートなどで職員共有を行い、把握に努めております。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	サービス担当者会議の活用で意見交換し介護計画に反映させております。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケアカルテ・連絡ノート・朝礼などを活用し共有を行っております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	吸痰などの必要時や通常時は訪問看護に依頼しているが、急を要する時は資格者がいるときは対応をしております。		

大垣ケアセンターそよ風

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	近隣の保育園児、小学生の体験学習、中学生の職場体験など来所頂き楽しい時間を過ごしております。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	在宅医療の導入により、より速い医療が受けられる体制作りを行いました。		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護時、個々の状況を記載した連絡用紙を基に適切な受診看護が受けられる様支援しております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	在宅医療と総合病院のドクター間の連絡情報の共有ができています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居契約時に見取りの理念の流れやご家族様のご意向などお聞きし、延命処置についてもお話させて頂いております。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	研修など行ってはいますが、実践が伴わない職員も少数いるのが現状です。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の消防訓練は行っております。地域との協力体制については総会時に区長様にお問い合わせいただき、了承頂きました。		

大垣ケアセンターそよ風

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員全員が心掛けて対応を行っております。今後も人格の尊重、誇りを損ねないように心掛けていきます。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご本人様の思いが表せるようなお声掛けを心掛けております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	希望に沿った支援を行っております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	お聞きしながらお洋服を選んで頂いたり、自分でを選んで頂いたりしております。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	盛り付けや洗い物など危険の無いよう付き添いながら一緒に行っております。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	管理栄養士の献立により職員が調理し、その方に合わせた食事形態の提供を行うとともに食事・水分摂取量の記録は毎日行っております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	朝夕の口腔ケアの施行、希望者の方には訪問歯科の利用も可能とさせて頂いております。		

大垣ケアセンターそよ風

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	定時のお声掛け、誘導を行う事でトイレでの排泄を支援しております。オムツ使用の方は1名様おられます。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分量の把握を行うとともに体を動かして頂ける様お声掛けを行っております。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	無理強いすることなく、清潔の保持を行いつつ入浴して頂いております。入浴剤を使用することで楽しく入浴出来る様心掛けております。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	就寝時間はご本人様に合わせております。昼夜逆転にならないよう日中の活動状況に気を付けております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方箋は職員が誰もが確認出来る様になっております。服薬の支援・症状の変化の確認に努めております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日常生活の中で出来る事を行っていただくことで、役割・気分転換など行えていると思っております。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	散歩など心掛けております。ご家族様には外出・外泊は大丈夫とお伝えしご協力頂いております。		

大垣ケアセンターそよ風

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	現金の所持はご本人様が安心できる程度に留めて頂くようお願いを行っております。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	制限は行っておりません。ご家族様のご意向はお伺いしております。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節が分かるような壁作りを行ったり、過ごし易い環境作り心掛けております。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	フロアーにてそれぞれが過ごし易く、思い思い過ごして頂ける様心掛けております。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人様の使い慣れた寝具類など配置することで安心して過ごして頂ける様支援させて頂いております。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	危険な物の持ち込み以外はご本人様の意向やご家族様の思いに配慮し、安全で自立して生活が過ごせるよう支援させて頂いております。		